

発行所 全日本建設交運一般労働組合
栃木県本部 〒327-0315
栃木県佐野市吉水駅前1-2-1
Tel. 0283-62-7312 fax 0283-62-7318
http://www.kenkourou.or.jp/
E-mail:dqj06744@nifty.com

CTGの建交労とちぎ

「インボイスってなに？」 制度を理解して対応を

11月13日定期大会で学習会開催

テレビ・ラジオ等で「インボイス」という言葉を聞く機会が増えました。しかし多くの人が内容についてよくわからないまま、登録申請を迫られる状況が生まれようとしています。

「インボイス」とは、税務署の登録番号がついた領収書や請求書のことです。政府は来年10月から、この登録番号がないと仕入・経費の消費税が引けなくなる制度を実施しようとしています。

そのため、課税事業者は取引相手に「インボイス(適格請求書)」の発行を求めざるを得ない状況がつけられようとしています。「インボイス」の登録番号を申請するということは、売上に関係なく消費税の申告をする(課税事業者になる)ということです。

ダンブの場合、年間売上が800万円程度であっても、消費税を40万円程度支払わなければならなりません。

また、制度導入後も3年間は免税事業者との取引であっても80%の税額控除を可能とする猶予期間も設定されています。

登録あわてず まず学習を

組合では登録を希望する組合員には申請を援助します。

しかし、様々な問題を含む制度であり、まづしっかりと内容を理解したうえで対応を検討することが重要です。



一方的取引停止 問題になる場合も

組合員が所属するいくつかの会社で代車にインボイス登録を求め動きがあります。

政府は、取引先が課税事業者にならないければ取引単価を引き下げ、それにも応じなければ取引を打ち切るなどには独占禁止法上問題になる場合があることを警告しています。

また、制度導入後も3年間は免税事業者との取引であっても80%の税額控除を可能とする猶予期間も設定されています。

◎組合では十一月十三日(日)午前九時三〇分から佐野市「あくとプラザ」で定期大会を開催し、インボイス学習会を行います。

参加希望者は十一月八日までに連絡を。

どう変わる残土規制 国がガイドラインを作成

「盛土規制法」の成立を受けて、現在国土交通

省が来春の施行にむけて自治体に示す「ガイドライン」を検討作成

今後この「ガイドライン」に基づき各県で法律が運用されます。しかしその内容が...



ダンブに処分場確認求める

明らかになっている基本的な方針(案)では「建設現場等から土砂を搬出するトラック運送事業者については、搬出先が盛土規制法の許可等を受けているかどうかの確認を要請する」など、現場の実態を無視した方針が見られます。

通常ダンブに搬出先の許可情報などは知られませんが、国交省検討会への要請が求められています。

県の道路管理責任を問う

道路法第42条で「道路の管理者は、道路を常時良好な状態に保つように維持し、修繕し、もつて一般交通に支障を及ぼさないよう努めなければならない」と規定されています。昨年、組合員が県道を走行中倒木により運転席キャビンが損壊する事故が発生、当初県の担当者は管理責任を認めず、その後全面的に争い現在裁判になっています。



ダンブに危険な林道を走らせ130万㎡もの残土を搬入予定(リニア本山処分場)



プロドライバーにとって道路は職場。組合では組合員からの情報に基づき随時行政に安全対策を要請しています。(写真は県道の支障木伐採)

◎原油高騰対策として自治体が行なう補助金制度。組合では佐野市、足利市、栃木市(10月末で終了)への申請を中心に取り組んでいます。ご相談ください。

◎十一月一日(木)、国会で全労連、建交労軽貨物ユニオン共催「軽貨物シンポジウム」を開催します。リアルでもオンラインでも参加者募集中です。組合事務所まで☎を。



大島さん(左)から現場の実態を聞かれいわ新選組の多ヶ谷議員(右奥)



いまや宅配荷物数は全国で年間50億個に達しています。



日曜朝8時からという参加しやすい(?)時間設定。



バスラーメンの弱点は車体の腐食。補修費用も結構かかると思うけど月曜はラーメン200円！。

バスラーメンの弱点は車体の腐食。補修費用も結構かかると思うけど月曜はラーメン200円！。訪問は日曜のお昼、客足は少し落ち着いてはきたものの15分程度店外で待機。なんせバスですから客席も厨房も狭くて大変です。もつ定食半ラーメンを注文。ラーメンは「にぼしラーメン」。もつもラーメンも絶品。レッカーで佐野まで引っ張ってきたくなるバスラーメンでした。

軽貨物

配達荷物増えても日給変わらず
れいわ新選組が国会で追及に

建交労軽貨物ユニオンでは10月21日、国会で衆議院議員多ヶ谷亮(れいわ新選組)と懇談、組合員が軽貨物ドライバーの労働実態を説明しました。懇談は多ヶ谷議員側からの要望により行われました。最大手アマゾンの荷物を配達していた組合員大島さんは、この1年で配達する荷物数が激増、1日1500個から多いときは200個以上運ぶようになっていくにもかわらず日給は変わらず、多くのドライバーが疲弊し辞めていく現状を訴えました。また大島さんは、アマゾンによるAI配車が導入されたことにより、配達率の高いドライバーにより多くの荷物が配車されるようになり、優秀なドライバーほど過密労働を強いられるAI化の問題を指摘しました。多ヶ谷議員は「一般のネット通販利用者は『送料無料』の背景を知らない。ぜひこの問題をとり上げたい」と10月28日国土交通委員会での質問することになりました。軽貨物ユニオンでは様々な政党と連携し、社会問題にする取り組みを強めています。

組合は「損害保険ジャパン」の代理店になっています。全国でも数少ない労働組合による法人代理店です。組合員本人が契約者の場合「集団扱い」となり割引が適用されます。さらに保険料支払いが2か月後になるなど、組合員の負担軽減になる内容になっています。この秋から「自動車保険拡大」の取り組みを強化します。ダンプ・トラックはもちろん、ご家族の乗用車なども加入することができ、現在加入している保険証券をご持参ください。健康相談会実施 がんの早期発見も 10月2日(日)、組合事務所秋の健康診断会を行いました。参加者は感染対策により28人でした。組合健診で肺ガンの早期発見につながった人もいます。次回は来年4月16日(日)の予定です。

自動車保険は組合で
家族の乗用車も加入できます

佐野ラーメン放浪記(42)

【みちのく屋台 津軽ラーメン】
足利市鹿島町1116-1
営業時間 12:00~14:30
当分夜は休業。定休:水曜



狭い厨房で体力の限界に挑戦するお母さん。

かつて全国各地にあったバスラーメン。いまや絶滅の危機に瀕しています。佐野市内は2軒のうち1軒(2年前掲載の千鳥さん)が昨年廃業。いよいよ寂しくなってきたそんな折、人気テレビ番組「オモウマイ店」で隣町足利市のバスラーメンが紹介されたので行ってみました。☆ ☆ ☆ 存在は以前から知っていましたが、旧五〇号を足利市街地から桐生市方面に進行すると否応なしに目に入ります。バスラーメンはどこも独特の入りづらさがあります。この店も例外ではありません。その独特の存在感のためいまままで敬遠していた人達が、テレビで紹介されたことで安心して行くようになったのでしょう。急増する客への対応でお店を切り盛りする高齢のご夫婦は疲労困憊、しばらくメニューを限定し夜間は休業すること。訪問は日曜のお昼、客足は少し落ち着いてはきたものの15分程度店外で待機。なんせバスですから客席も厨房も狭くて大変です。もつ定食半ラーメンを注文。ラーメンは「にぼしラーメン」。もつもラーメンも絶品。レッカーで佐野まで引っ張ってきたくなるバスラーメンでした。